

視点2 グローバル化と地域化

- 6. グローバル化の概念
- 7. 経済のグローバル化と地域
- 8. 政治・文化のグローバル化と地域
- 9. 英語による情報と文化の支配
- 10. インターネットとドメイン

情報文化

技術

社会

視点1 情報技術の社会/個人への影響

視点2 グローバル化と地域化

情報
通信
技術

与える影響

個人

視点3 情報社会と個人

人間の情報行動

-コミュニケーション

-情報伝達・メディア

-意志・判断

与える影響

与える
影響

個人の生活

-多量の情報流通

与える影響

【1】地域の価値観
(言語、道徳、宗教、
制度など)

【2】社会の行動様
式・生活様式
(言語、道徳、宗教、
制度など)

【3】個人の意識・
感性・関心・価値観

【4】習慣
習慣・様式・しきたり

国際化 Internationalization

- 国際的な規模に広がること
 - 1つの国だけではなく、いくつかの国にかかわっていること
- 国（国民国家）が基準
 - 日本が他の国とかかわりを持つこと
 - 日本と中国、日本とアメリカ
 - 主権は国にある
- 意志が必要
 - 能動的な活動を伴う

国際化と技術

- 運輸(輸送)技術
 - 航空機
 - 海運
- 通信技術
 - 国際電話
 - TELEX, FAX
- 戦争による技術開発

グローバル化 Globalization

- 政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大すること
- 人や物や金や情報が国境を越えて自由に行き交う状況
- 特に経済のグローバル化が実態として存在する
 - 政治のグローバル化
 - 文化のグローバル化
- 主権は国と超(準)国家的機関にも存在
 - 国・地域の概念が乏しくなる
 - 国家主権の弱体化
- いやおうなくグローバル化の状況に置かれる

グローバル化の歩みと情報通信技術

- ニュース/企業活動
 - Telex, 電話 1950年代
- 経済活動と専用線
 - 専用アナログ回線 1960年代(モデム)
 - 高速デジタル回線 1980年代
 - 仮想専用線 2000年代
 - インターネット/広域イーサネット
- 自然科学
 - 情報の共有 1970年代
 - 索引誌からデータベースへ
- インターネット 2000年代
 - 瞬時・安価・自由な世界規模のコミュニケーション

グローバル化と情報通信技術

- グローバル化に情報通信技術が大きく貢献
 - グローバル化の概念は古くから存在した
 - 運輸・通信・金融・保険等の技術や情報伝達能力が発達し、貿易や資本などの移動に対する障害が政策的に取り除かれた(平成16年度年次経済財政報告)
- アナログ回線からインターネットへ
 - 瞬時・安価・自由な世界規模のコミュニケーションを実現
 - 金融面を中心に経済取引が瞬時に世界的規模で実現
- 冷戦時代の軍事技術がベース

例1 Google earth

- 世界を一つの球として視覚的に理解できる
 - Global (globe: a thing shaped like a ball, The world)
- 検索機能(ジャンプ)
 - 新潟国際情報大学
 - 新潟市西区みずき野3-1-1
 - 新潟市中央区上大川前通7番町1169
 - アルバータ大学
 - 11515 Sask Dr NW, Edmonton, AB T6G 2C4, Canada
 - Campus Tower Suite Hotel
11145 87 Avenue NW, Edmonton, AB T6G
 - 北京師範大学 Beijing Normal University
 - 19 Xijiekou Wai Street, Beijing 100875, P. R. CHINA

例1 続き (Goole Maps)

- 日本
 - 技術的革新性に注目
- カナダ 2005
 - グローバル化は普通概念
 - 使うことに関心
 - 訪問企業での新潟国際情報大学の説明
 - 訪問企業までのコースの案内(メール添付)
 - 国内と国外で活動することの意識的な違いない

例2 時空間地図

グローバルな時空間

著作権に抵触するため削除しました

日本の時空間地図

著作権に抵触するため削除しました

<http://zgate.gsi.go.jp/jikukan/images/niigata.jpg>

<http://zgate.gsi.go.jp/jikukan/images/niigata.jpg>

著作権に抵触するため削除しました

運輸技術による空間の拡大

情報文化 6回目 12

新潟国際情報大学 情報文化 高木義和

例3 Cartogram

- カルトグラム、統計地図
- 統計データを地図上に理解しやすく表現した地図。
- 棒図・面積図・等値線図・体積図などカテゴリを使って表示するが多い
- 世界地図のカルトグラム

例3 グローバル世界地図

- GDP世界地図 1
 - <http://www.girardin.org/fabien/blog/2006/02/28/worldmapper/>
- 人口クリエ マニュアル PEG-TH55世界地図 2
 - <http://www.worldmapper.org/display.php?selected=2>
- 収入/day世界地図 3
 - http://www.worldmapper.org/animations/income_animation.html
- インターネットユーザ世界地図 4
 - http://www.worldmapper.org/animations/internet_users_animation.html
- 情報流通
 - 1. <http://rs.resalliance.org/2007/10/11/global-information-flows/>

例3(続き) Images of the social and economic world

- 世界地図:
 - an ordinary map of the world:
- 人口世界地図:
 - a cartogram that shows the human population of the countries of the world:
- GNP世界地図:
 - a cartogram of the world in which the sizes of countries are proportional to Gross Domestic Product
- 乳児死亡率世界地図:
 - a cartogram of Child mortality
- <http://www-personal.umich.edu/~mejn/cartograms/>
 - Mark Newman, The University of Michigan's Department of Physics and Center for the Study of Complex Systems

グローバルに把握し考えることができる

例4 Google Analytics 2005/11

- ユーザの属性を分析
 - 「Urchin on Demand」\$199/月を無料で提供
- 国/地域からのセッション数
 - 世界中からのアクセスを表示
- <https://www.google.com/analytics/home/?et=reset&hl=ja-JP>
 - <https://www.google.com/analytics/reporting/?reset=1&id=3005770&pdr=20090423-20090523>
- 世界を1つの市場と考えることができる
 - 地図で表示されるが国の概念は希薄

例5 身近な例

- 生産国表示
 - 衣類: ブランド、格安商品
 - 食品: 加工食品・生鮮食品(野菜・果物・牛肉)
- エンターテイメント
 - ディズニーランド/映画
- 新型ウイルス病
 - インフルエンザ、SARS、エイズ
- 国際分業
 - 単一市場化と生産の分業
 - 安価なものは他国から仕入れ、競争力のあるものを国内で生産する: 企業内国際分業も存在

グローバル化の概念と日本

■ 日本

- 他の国を意識する必要が少ない
- 他の国と隣接していない
- 日本だけで経済圏が完成
- グローバル化の概念は生まれにくい
 - 人工衛星、衛星放送、衛星電話など日本から生まれにくい

■ アメリカ

- 国内がグローバル化
- 国内の状況をそのまま拡大すればグローバル化
- 普通 of 概念 (新聞記事、CNN)
- **Google earth** はアメリカで誕生

■ アメリカ化

グローバル化のメリットと問題点

- 問題点の指摘の方が多いが、現実には多くのメリットを既に受け入れている
- メリット
 - 生活の中に浸透
 - 機会が均等に与えられる(実力主義)
 - 安価な商品、外国の映画・番組、規格
- 問題点
 - 受け入れざるを得ない
 - 画一化・均質化・平準化と不平等
 - 階層・個人による分断
 - グローバル化を利用できる人とできない人
 - デジタルディバイド
 - 情報格差、経済的格差

経済の国際化

■ 国際化

- 1つの国だけではなく、いくつかの国にかかわっていること(P3)

■ 経済の国際化

- 経済の開放性は増加するが、主要な経済活動は依然として国内にとどまる。
- いくつかの国にかかわる経済活動は国内の経済活動の延長である。
- 多国籍企業
- 循環的かつ可逆的動向

経済のグローバル化

■ グローバル化

- 人や物や金や情報が国境を越えて自由に行き交う状況

■ 経済のグローバル化

- 世界は根本的かつ不可逆的に変容を遂げ、国民経済が国際経済システムの中に組み込まれる。
- 国籍にこだわらない超国家的な企業(グローバル企業)による生産が世界規模で行われる
- 国民国家の主権が弱くなる
- 国家は、国家主義や地政学上の力を現在と同様に保持し続けるという反対論もある
- ハースト(Hirst)&トンプソン(Thompson)

日本における経済のグローバル化

- 年次経済財政報告平成16年度
 - 資本や労働力の国境を越えた移動が活発化する
 - 貿易を通じた商品・サービスの取引や、海外への投資が増大する
 - 世界における経済的な結びつきが深まる
- 世界銀行の定義をベース
 - 個人や企業が他国民と自発的に経済取引を始めることができる自由と能力
 - 「自由」とは国境を越えて資本・労働力等の移動に障害がないこと
 - 「能力」とは国境を越えて商品・サービスを提供し、あるいは他の国で経済活動をする能力があること

-
- グローバル化の過程は国内において分業が進展していく過程と基本的に同じ
 - 分業によって経済活動の専門化が進む
 - 技術革新を伴いながら経済成長がもたらされる
 - 世界経済が包摂され自由主義経済の良さを享受できる
 - 消費者はより安くて質の高い財やサービスを選択することが可能になり、生活水準が向上する
 - グローバル化に構造改革が重要
 - 市場メカニズムを機能させ生産性の向上を図る
 - 労働や資本等を生産性の低い分野から高い分野へ移動させる
 - 製品や規制の標準化を図る

-
- 新聞の経済面で経済のグローバル化が認識できる
 - 株式・為替・金利・国債
 - 商品市場
 - 世界的な金融・債券市場
 - 市場のグローバル化(24時間体制)
 - 世界が1つの市場のように連携を強めている
 - 世界的に瞬時に価格が決まる
 - 資金が世界を移動
 - 新聞記事参照

日本経済新聞と FINANCIAL TIMES

- FINANCIAL TIMES
 - 世界中の情報を対象
 - 情報のabc順表示
- 日本経済新聞
 - 日本の代表的経済新聞
 - 国外の比重低い
- 株式: International stocks
- 株式指標: Equity Market at a glance
- 国債: Bonds

為替と株式指標

■ 為替

- 日本経済新聞 30ヶ国
 - 2009/5/26
- FINANCIAL TIMES 53ヶ国
 - 2008/4/1

■ 世界の株式指標

- 日本経済新聞 24ヶ国
 - 2006/4/9
- FINANCIAL TIMES 62ヶ国
 - 2008/4/1

企業のグローバル化

- 多国籍企業
 - 地域ごとの本社組織から
 - 地球全体に散らばる組織を一つの会社に見たてた水平分業組織へ
- 生産のグローバル化
 - 生産の国際化・地域化
 - 国際的分業体制
- 販売のグローバル化
- 地域別セグメント化
 - グローバル化の中の地域化(地域対応)
 - 本田、スズキ
 - **新聞記事参照**

セグメント情報

■ ホンダ 2005

- 北米で稼いでいる
- 日本は収益性が低い
- アジアに成長の余地
- 日本経済新聞2006/4/9(単位:百万円)
- http://www.honda.co.jp/investors/financialresult/2008/2008_3rd/14.html?size=1

■ スズキ 2005

- 北米では収益基盤低い
- アジア、特にインドに強い
- 日本経済新聞2006/4/9 単位:百万円

グローバル化と社会の分断

- グローバルな経済活動の拡大に伴う問題点の出現
- デジタルディバイド
- 情報を持つものと持たない者との格差のこと。富裕層がデジタル機器を使用して情報を得て、さらに経済力を高めるため貧困層との経済格差が広がる（アメリカ商務省 1999）

国・地域間の分断

- 国・地域間の分断
 - 国家間不平等
 - Google earthの地図情報の精度により地域差がある程度分かる
 - 世界地図のカルトグラムも地域格差を示す
- デジタルディバイド(個人)だけの問題ではなく、複雑に要素が交錯している

国内・地域内の分断

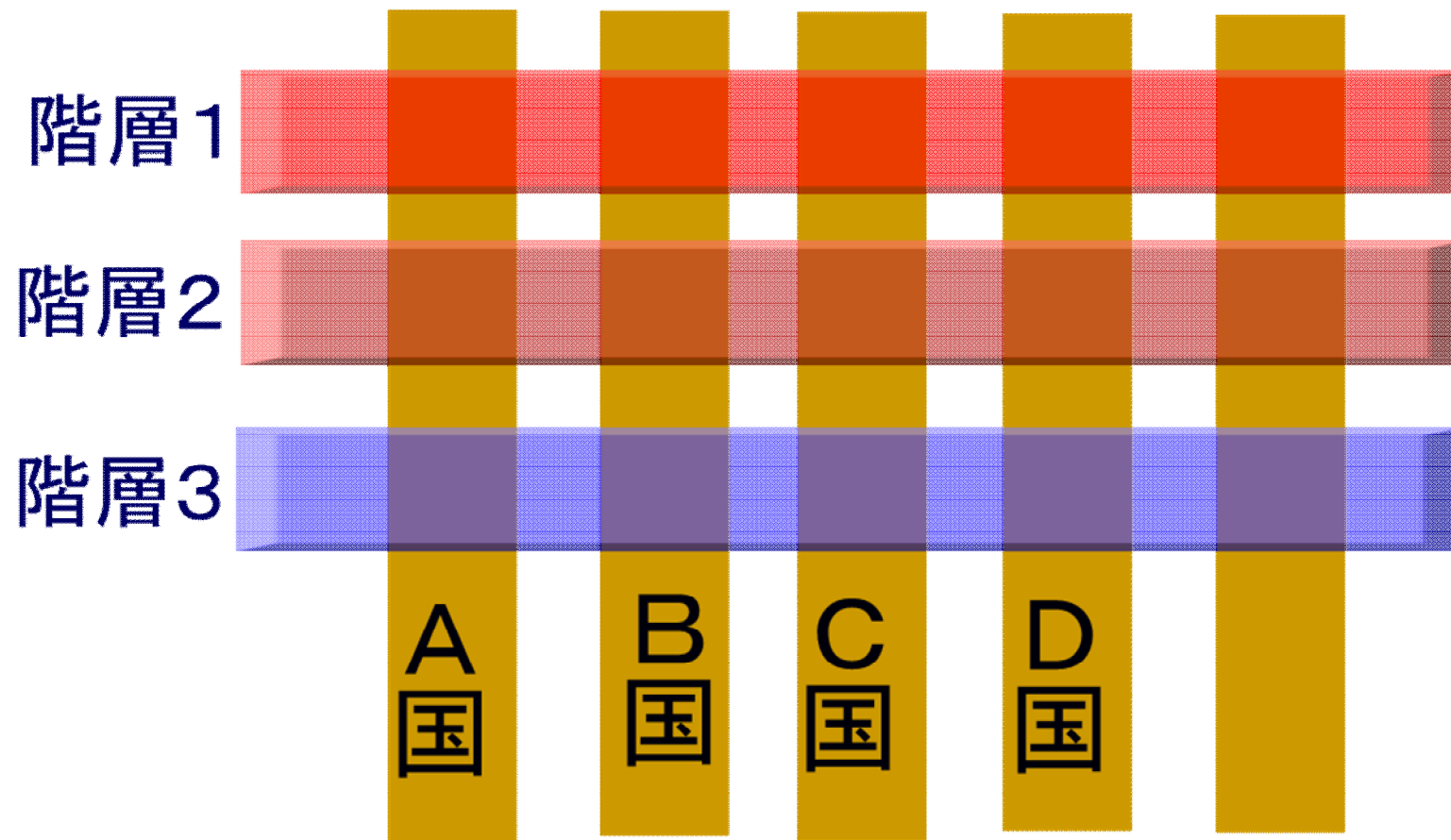
■ 国内・地域内の分断

- 同一国民間の不平等の拡大
- グローバル化に関われる人と、関われない人の間の格差
- 年齢/職業などの階層による分断

■ 不平等の拡大・格差

- 社会の機能による断片化と細分化
- デジタルディバイドだけの問題ではなく、個人レベルの分断,階層による分断など、複雑に要素が交錯している
- 地域コミュニティ(地域共同体)とは全く異なる

国内的な分断



- 複数の階層が交錯した分断が生じている

日本

- パート、契約、派遣社員
 - 労働者の3割
 - 契約期間満了で解雇が可能
- グローバル化
 - 1995年 雇用の規制緩和
 - 終身雇用は基幹社員に絞る
 - 1999年 労働法の改正
 - 派遣労働の業種を原則自由
 - 2004年 有期雇用制限を3年に改定(1年から)
- 終身雇用による日本型経営が崩れる

非正社員

- 2000～2005
 - 正社員 –446万人
 - 非正社員+590万人
 - 非正社員 21% → 32%
- 非正社員 給与は正社員の64%
- 世代による分断
 - 若者(1-24)は約半分が非正社員で、若者の所得格差が拡大
 - 卒業年次による分断
- 労働組合
 - 正社員中心で非正社員をまとめることができなかった

若者失業率(EUと日本)

- 日本は非正社員(パート)が多いが、失業率低い
-

著作権に抵触するため削除しました

朝日新聞2006,4,17, 若者雇用進む流動化より

参考:<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/3080.html>

情報文化 6回目 35

グローバル化とフランス

- EU統合の深化
- 企業活動の活性化
 - 効率化
 - 活性化
- 従来の方式の変更が求められる
 - グローバルな競争を意識した方向へ
 - 従来の豊かな暮らしと反する

フランス国内の分断

- 世代間の分断
- 伝統との摩擦
 - 平等、公正
 - 暮らしの安定
 - 手厚い社会保障制度
- フランスの雇用制度
 - 従来の雇用制度はグローバルな企業活動に対応困難
 - フランスの新雇用制度
 - DVD参照24分

課題

- 雇用をめぐるフランスと、日本の現状を通して、グローバル化による社会への影響を考える。
- 1. グローバル化が地域(国)や社会にどのようなプラスの影響を与えたか、逆に、地域や社会を分断するどのような負の影響を与えたと考えられるか
- 2. グローバル化は、地域や社会を基盤とする生活様式や文化にどのように変化を与えると考えられるか

グローバル化まとめ

- 地域の変化をグローバル化の中で考える必要がある
 - 実態として考えざるを得ない
- グローバル化は情報・通信技術と密接な関係
 - 技術の進歩によりグローバル化が進展した
- 国民文化の根強さ連続性(次回)
 - 文化の連続性は存在している
- 日本人にとって理解が困難な概念

参考資料

- David Held, A Globalizing World?, 2002
- 青木 保, 情報社会の文化1 情報化とアジアイメージ, 1999
- サスキア・サッセン, グローバリゼーションの時代, 1999